



茨城県立古河第二高等学校 同窓会機関紙

発行責任者 篠崎 久子

古河二高ホームページ URL <http://www.koga2-h.ed.jp>

母校は新しい時代に向けて

同窓会長 篠崎 久子



同窓会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。日頃より同窓会の運営並びに母校発展にご支援を賜り感謝申し上げます。

古河第二高等学校は大正昭和へ平成そして多くの変遷を経て、令和という新しい時代をスタートしました。これまで巣立った卒業生は約二十三万余名。一〇五年の輝かしい歴史と伝統の継承を卒業生の一人として大きな誇りとするところです。

令和元年、この節目の六月二十八日、同窓会総会を開催致しました。高橋淳校長先生からの教育方針を拝聴した後、担当の先生方から福祉科棟の施設ご案内とミニ介護講座・実技を受けました。最良の教育環境の下で専門的な知識と実技を学び介護福祉士を実現する後輩達の高度学習を知る事ができました。古河二高の教育方針「地域社会に貢献できる人材育成」正に在り。実感しました。

今後とも会員の皆様と共に母校古河第二高等学校の新しい時代に向けての益々のご発展を心よりお祈りいたしご挨拶いたします。

福祉棟の見学
(ミニ介護講座)

令和元年6月28日



ベッドから車椅子への移り方



車椅子の体験



入浴実習室



とろみとゼリー食の体験

同窓会だより

昭和十九年卒業(高女八回生)

細谷 きよ

(九十二歳)



入学したのは昭和十五年、大東亜戦争(日、米)。余りにも古い話で記憶が撤廃になった。

昭和二十年八月十五日終戦。その当時、考えられない食糧難の時代。又、衣料切符制。あるもので我慢する。このような時代をのりこえてきました。

その後、総和町(現在古河市)の役場に配給係(米配給計算)庶務と、多忙な日を送った青春時代でした。今現在、年を重ねて体調のおとろえはそれなりに頑張り、デイサービスに行き余生を送っています。感謝です。

令和元年六月二十四日

平成二十年卒業の水越雄太さんも北勝園デイサービスのリーダーとして活躍しています。私も力強いです。